

地域づくりレポーター < 06 - 4~ 5月度レポート >

テーマ : 「防災」 < 港湾に関する意見 >

報告者 黒沼貞志

2月～3月のレポートが年度末業務多忙と重なり提出できず失礼を致しました点ご容赦願います。
今回の指定テーマは「防災」となっておりますが、< 河川 道路 ダム 港湾を中心に > とのガイドラインも有りましたことから「防災」というメインテーマからは外れますが < 港湾 > に関してレポートさせていただきます。

先般貴酒田港湾事務所から「Re・PORTさかたNO.114」を受領し < 酒田港長期構想 > が策定されたことを知りました。

早速HPにアクセスしその内容を拝見致しました。

この長期構想につきましては昨年の02月度レポートにてパブリックコメント(?)としての中間報告に対するコメント意見を提出致しました(詳細は添付レポート参照願います)。

そして、その内容に対しては前所長殿からも丁寧に返事を頂戴しております。

今回策定 & 上程された < 酒田港長期構想 > としての内容をみて、一レポーターとして提出した意見やコメントの取り扱われ方の限界は承知した上でコメントさせていただきます。

既提出の個々の詳細について記述しました意見・コメントは致し方なしと看過させていただきますが、最初に挙げさせて戴きました構想 計画書策定の基本とも言える次の意見に関して今回の長期構想で殆どカバーされていない事には少なからず失望したところです。

いわゆるこれまでの長期計画や構想に散見される限界を止揚できていないという感じを払拭できません。

目標年次 : 長期構想、港湾計画の目標年次 :

この変化の激しいスピードの時代(ドッグイヤーからラットイヤーと言われて久しいですが)ではあっても長期構想、中期構想などが必須であることは自明です。がしかし、昨今のインフラ計画に関する見直しの社会の動向を考えた場合、せめて5 or 10年単位のインターバルのマイルストーンを含んで、且つ、その節目に見直しを必須条件としその見直し要領まで盛込んだ構想計画が必須と思っておりますが、残念ながらその様な記述をこの中間報告に見つけられませんでした。

また、その様な長期計画策定方針・コンセプトも表現があってほしいと感じました。

唯一、第3章の「1.組織体制」「2.各取組みの行動イメージ」「3.酒田港長期構想チェックリスト」にて触れられてはいますが定性的で概念イメージが強く、特に【**具体的時間軸**】が組込まれていないため一般県民はこの構想の実現にどのようなタイミングで参画をするか、どのようにウォッチングするかという目安を立てることが出来ません。

つまり、「いつ、だれが、どのように、どこまで(目標とする成果物は具体的にどのようなものか)」やるかという【**アクションプラン**】が示されていない点が残念です。

この構想が「絵に書いた餅にならないため」にも、実際はその様なものを作っているが紙面上の制約から載せていない」ということであって欲しいし、せめて、その記載をした上で希望者には閲覧できる仕組みが欲しいものです。

因みに、「1.組織体制」に記載の「酒田港長期構想推進委員会（仮称）」の委員、作業部会はどのような要領で（いつ、どのように）選定されるのでしょうか？

また、「2.各取組みの行動イメージ」で言及しますと＜第1段階＞＜第2段階＞＜第3段階＞は夫々10年のスパンと理解して宜しいのでしょうか？

もしそうであれば、第1段階の10年の期間中に予定されているアクティビティについてのみでも上記のようなアクションプランを提示して戴きたいものです。

更には、「3.酒田港長期構想チェックリスト」に記載のチェック項目はどのようなタイミングで、だれが（上記委員・作業部会のメンバーと推察されますが）、どのような評価手法・基準で実施されるのでしょうか？

以上のような素朴な疑問が出てきますが、酒田港湾事務所のHPでは問い合わせできるようになっています。

しかし、取敢えず昨年2月度のレポートと同様に本レポートにてコメントさせて戴きますので酒田港湾事務所への情報提供方宜しくお願い致します。

以上